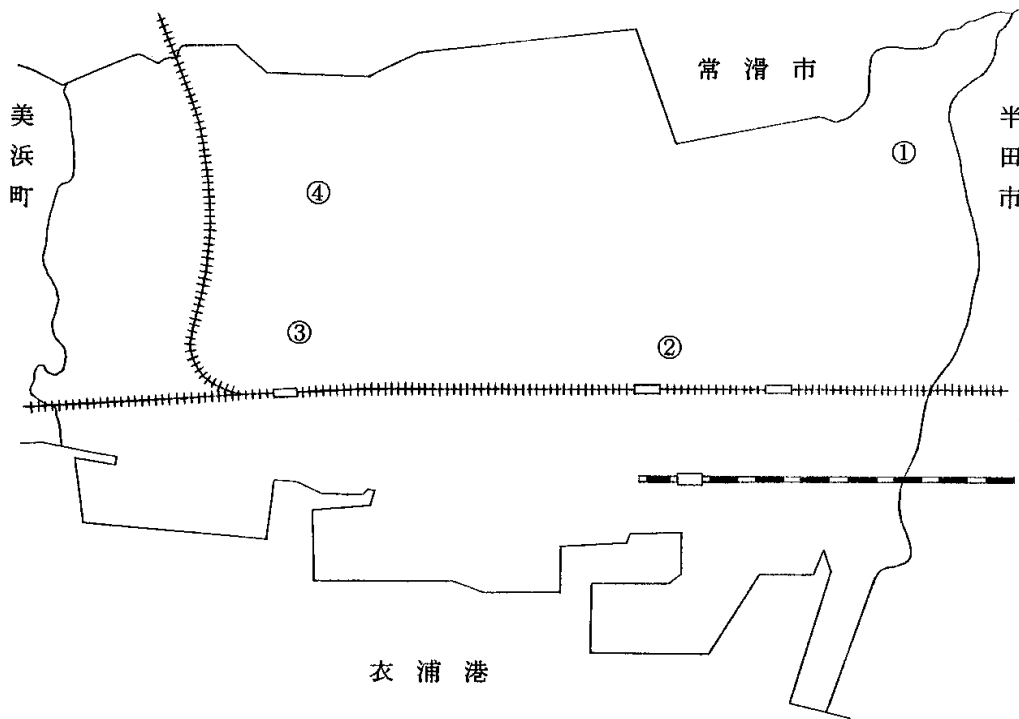


# 1 大気汚染

二酸化硫黄、窒素酸化物、光化学オキシダント、浮遊粒子状物質などの大気汚染物質の主な発生源は、かつては、工場・事業場のボイラー、加熱炉、廃棄物焼却炉などの大規模固定発生源が中心でしたが、大気汚染防止法などの規制により工場・事業場からの排出は汚染の主要因ではなくなってきました。（表1. 1、表1. 4、表1. 9、表1. 12）

武豊町における大気汚染測定は、図1. 1のとおり実施しています。このうち、武豊町役場の窒素酸化物・光化学オキシダント・浮遊粒子状物質の自動測定装置は、愛知県が設置しているものです。

図1. 1 大気汚染測定地点



番号	測定地点	測定項目もしくは測定方法
1	北山配水池	気象・二酸化硫黄・窒素酸化物・光化学オキシダント 浮遊粒子状物質
2	武豊町役場 (愛知県設置測定局)	気象・窒素酸化物・光化学オキシダント・浮遊粒子状物質
3	富貴小学校	気象・二酸化硫黄・窒素酸化物・光化学オキシダント 浮遊粒子状物質・降下ばいじん
4	市原地区調整池	降下ばいじん

## 1. 1 硫黄酸化物

硫黄酸化物濃度は、表1. 2、図1. 2に示すように環境基準（表1. 1）を満たしており、近年はほぼ横ばいで推移しています。平成30年度の二酸化硫黄濃度の年平均値は、北山配水池測定局（以下、北山配水池という。）および富貴小学校測定局（以下、富貴小学校という。）において、それぞれ0.001 ppmでした。

表1. 1 二酸化硫黄の環境基準

1時間値の1日平均値が0.04 ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1 ppm以下であること。

表1. 2 二酸化硫黄経年変化

項目 地点 年度	有測定日効数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1の時最高値	日2平%均除外の値	環境基準の適否	
	(日)	(時間)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(適○・否×)	
北山配水池	26	361	8,650	0.000	0	0	0	0	0.012	0.002	○
	27	324	7,814	0.001	0	0	0	0	0.014	0.003	○
	28	361	8,614	0.001	0	0	0	0	0.014	0.003	○
	29	273	6,486	0.001	0	0	0	0	0.019	0.003	○
	30	361	8,613	0.001	0	0	0	0	0.014	0.003	○
富貴小学校	26	361	8,685	0.001	0	0	0	0	0.024	0.003	○
	27	354	8,574	0.001	0	0	0	0	0.018	0.003	○
	28	361	8,667	0.001	0	0	0	0	0.017	0.003	○
	29	359	8,654	0.001	0	0	0	0	0.020	0.003	○
	30	360	8,657	0.001	0	0	0	0	0.013	0.002	○

※ 北山配水池と富貴小学校において二酸化硫黄濃度の平成26年度から平成30年度までの年平均値等を表しています。

表 1. 3 二酸化硫黄測定結果

地点	年月 項目		平成30年									平成31年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水池	有効測定日数	(日)	30	31	28	31	31	30	31	30	29	31	28	31
	測定時間	(時間)	712	734	680	736	734	711	736	710	725	736	664	735
	月平均値	(ppm)	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	(ppm)	0.011	0.010	0.005	0.006	0.007	0.010	0.012	0.014	0.011	0.008	0.010	0.009
	日平均値の最高値	(ppm)	0.003	0.003	0.001	0.002	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003	0.002	0.003	0.003
富貴小学校	有効測定日数	(日)	30	31	30	29	31	29	31	30	31	29	28	31
	測定時間	(時間)	715	740	716	708	740	709	739	716	739	727	668	740
	月平均値	(ppm)	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	(ppm)	0.010	0.008	0.013	0.007	0.005	0.009	0.010	0.011	0.013	0.008	0.010	0.012
	日平均値の最高値	(ppm)	0.003	0.003	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	0.003

※ 北山配水池と富貴小学校の二酸化硫黄濃度の年間（4月から3月まで）の月平均値等を表しています。

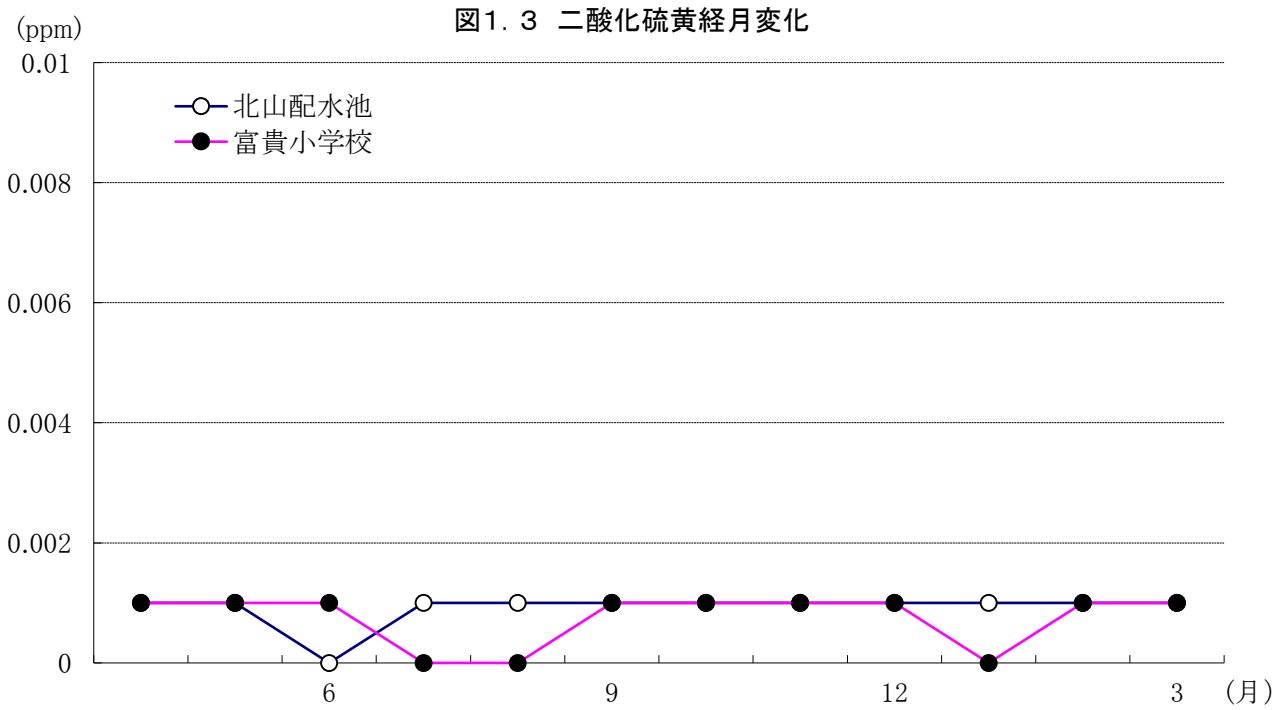
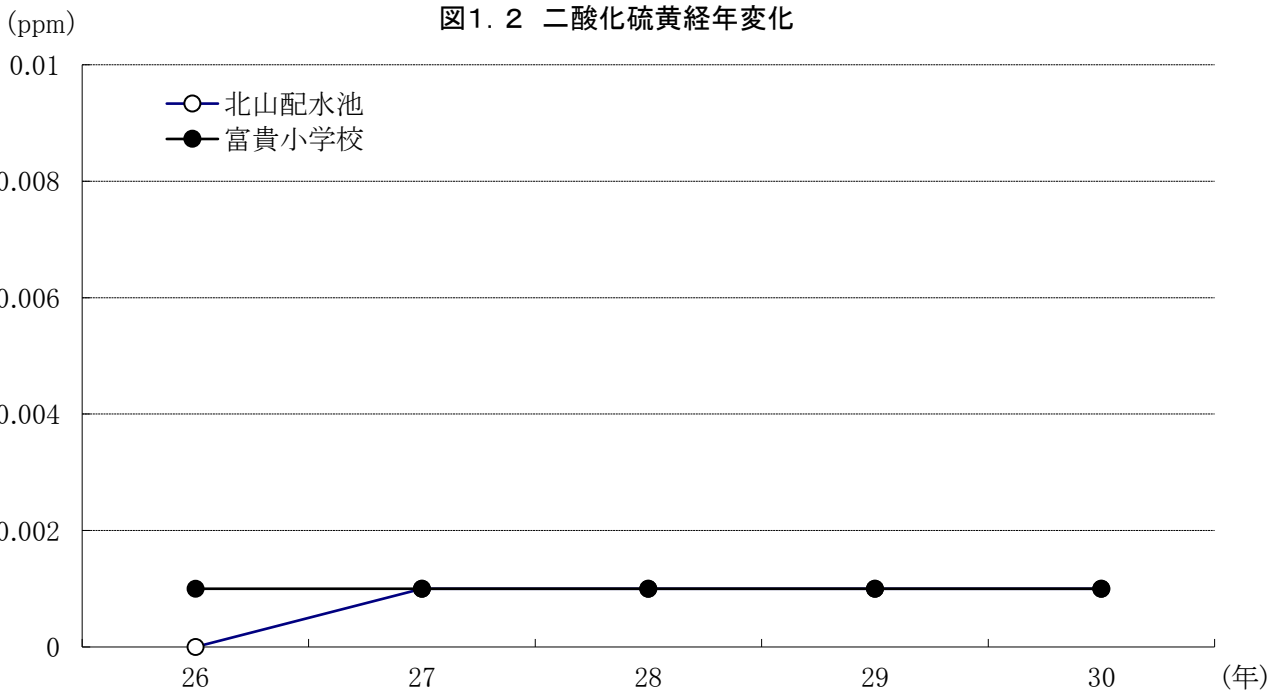


図1.4 曜日別二酸化硫黄濃度

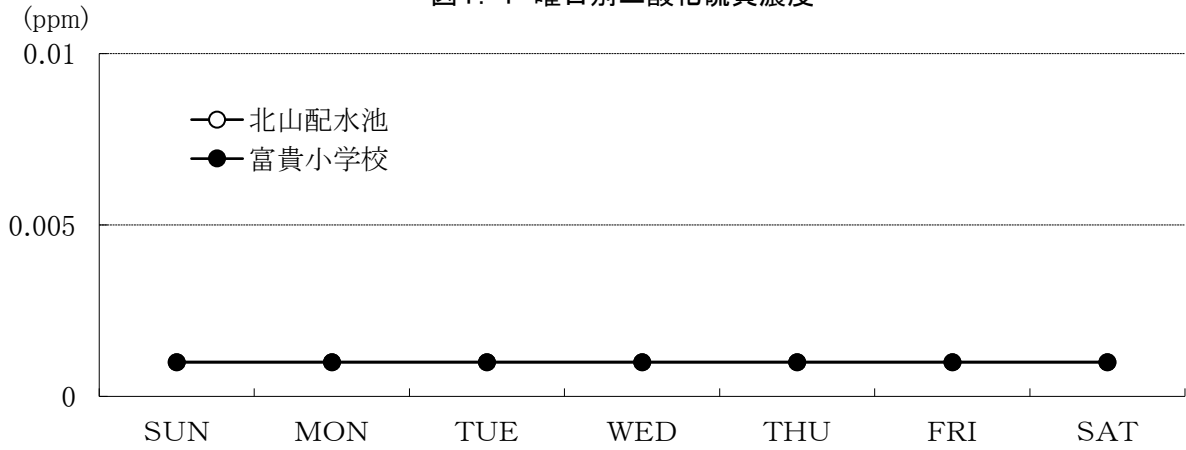


図1.5 時刻別二酸化硫黄濃度

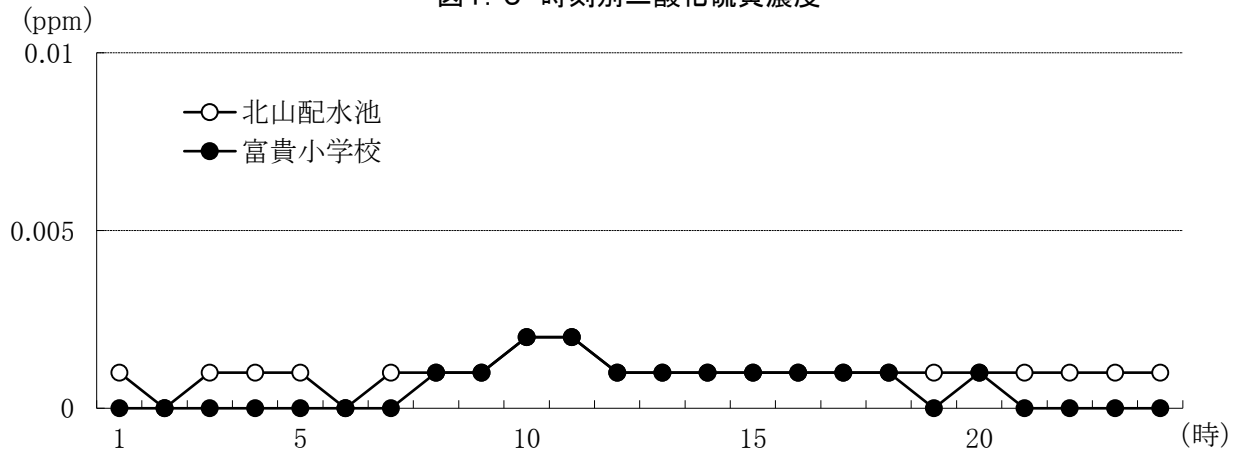
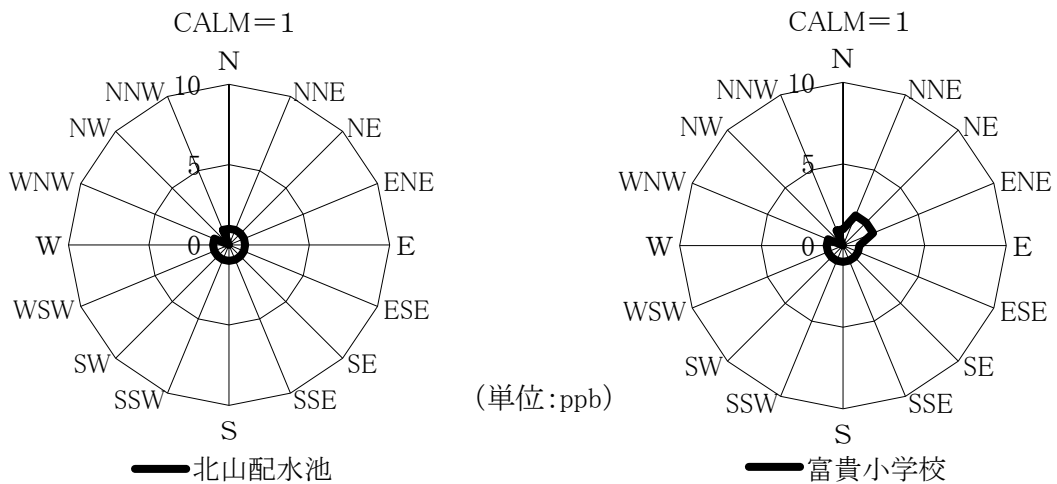


図1.6 風向別二酸化硫黄濃度



※ CALMとは、風速0.4m/s以下の微風(ほぼ無風状態)を表しています。

## 1. 2 窒素酸化物

窒素酸化物は、二酸化窒素の環境基準(表1. 4)が定められており、表1. 5、図1. 7および図1. 8に示すように、いずれの測定局も二酸化窒素の環境基準(表1. 4)を満たしており、その濃度は近年はほぼ横ばいで推移しています。二酸化窒素の平成30年度の年平均値は北山配水池および富貴小学校においてそれぞれ0.010 ppm、0.008 ppmでした。

表1. 4 二酸化窒素の環境基準

1時間値の日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

### 1. 5 窒素酸化物経年変化

項目 地点 年度	二酸化窒素										
	有測定日効数	測定時間	年平均値	日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		1の時間最高値	日年間平均値%の値	環境基準の否	
	(日)	(時間)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(適○・否×)	
北山配水池	26	361	8,680	0.009	0	0	0	0	0.053	0.028	○
	27	324	7,823	0.009	0	0	0	0	0.050	0.028	○
	28	361	8,645	0.010	0	0	0	0	0.056	0.028	○
	29	190	4,603	0.009	0	0	0	0	0.053	0.025	—
	30	361	8,614	0.010	0	0	0	0	0.054	0.028	○
富貴小学校	26	250	6,021	0.009	0	0	0	0	0.043	0.024	○
	27	357	8,616	0.009	0	0	0	0	0.047	0.025	○
	28	360	8,641	0.008	0	0	0	0	0.055	0.025	○
	29	359	8,646	0.009	0	0	0	0	0.051	0.025	○
	30	247	6,013	0.008	0	0	0	0	0.049	0.023	○

項目 地点 年度	一酸化窒素						窒素酸化物					
	有測定日効数	測定時間	年平均値	1の時間最高値	日年間平均値%の値	有測定日効数	測定時間	年平均値	1の時間最高値	日年間平均値%の値	NO <sub>2</sub> ÷(NO+NO <sub>2</sub> )	
	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(%)	
北山配水池	26	361	8,680	0.001	0.073	0.012	361	8,680	0.011	0.092	0.038	86.4
	27	324	7,823	0.001	0.051	0.010	324	7,823	0.011	0.095	0.037	87.5
	28	361	8,645	0.002	0.076	0.016	361	8,645	0.011	0.116	0.046	84.2
	29	190	4,603	0.001	0.062	0.007	190	4,603	0.010	0.100	0.034	88.1
	30	361	8,614	0.001	0.051	0.010	361	8,614	0.011	0.093	0.036	87.3
富貴小学校	26	250	6,021	0.002	0.058	0.013	250	6,021	0.011	0.089	0.035	78.8
	27	357	8,616	0.002	0.071	0.012	357	8,616	0.011	0.110	0.036	80.4
	28	360	8,641	0.002	0.090	0.016	360	8,641	0.010	0.127	0.041	78.3
	29	359	8,646	0.002	0.072	0.011	359	8,646	0.011	0.119	0.037	80.9
	30	247	6,013	0.002	0.079	0.009	247	6,013	0.010	0.121	0.029	81.0

※ 北山配水池と富貴小学校の二酸化窒素・一酸化窒素・窒素酸化物濃度の平成26年度から平成30年度までの年平均値等を表しています。

※ 北山配水池の平成29年度の二酸化窒素濃度は、年間測定時間が6,000時間未満のため環境基準の評価の対象外としています。

※ 北山配水池の平成29年度の二酸化窒素・一酸化窒素・窒素酸化物濃度は、年間測定時間が6,000時間未満のため参考値となります。

表 1. 6 一酸化窒素測定結果

地点	年月 項目		平成30年									平成31年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水池	有効測定日数	(日)	30	31	28	31	31	30	31	30	29	31	28	31
	測定時間	(時間)	712	734	685	734	734	711	736	710	724	734	664	736
	月平均値	(ppm)	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.003	0.002	0.002	0.001
	1時間値の最高値	(ppm)	0.023	0.030	0.021	0.010	0.012	0.024	0.032	0.037	0.047	0.051	0.051	0.044
	日平均値の最高値	(ppm)	0.004	0.006	0.004	0.001	0.003	0.002	0.009	0.009	0.017	0.016	0.015	0.007
富貴小学校	有効測定日数	(日)	30	27	26	29	31	27	18	—	—	21	26	12
	測定時間	(時間)	715	646	628	708	740	672	441	—	—	546	620	297
	月平均値	(ppm)	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.003	—	—	0.003	0.002	0.002
	1時間値の最高値	(ppm)	0.031	0.023	0.029	0.041	0.012	0.015	0.023	—	—	0.079	0.061	0.024
	日平均値の最高値	(ppm)	0.005	0.007	0.009	0.006	0.004	0.003	0.009	—	—	0.023	0.016	0.004

※ 北山配水池と富貴小学校の一酸化窒素濃度の年間（4月から3月まで）の月平均値等を表しています。

※ 富貴小学校の11月から12月は、測定機器故障のため欠測。

表 1. 7 二酸化窒素測定結果

地点	年月		平成30年									平成31年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
項目														
北山配水池	有効測定日数	(日)	30	31	28	31	31	30	31	30	29	31	28	31
	測定時間	(時間)	712	734	685	734	734	711	736	710	724	734	664	736
	月平均値	(ppm)	0.009	0.010	0.006	0.004	0.005	0.008	0.011	0.014	0.013	0.011	0.013	0.012
	1時間値の最高値	(ppm)	0.039	0.044	0.026	0.018	0.025	0.031	0.038	0.046	0.045	0.048	0.054	0.046
	日平均値の最高値	(ppm)	0.019	0.021	0.010	0.008	0.011	0.018	0.025	0.026	0.031	0.035	0.034	0.030
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富貴小学校	有効測定日数	(日)	30	27	26	29	31	27	18	—	—	21	26	12
	測定時間	(時間)	715	646	628	708	740	672	441	—	—	546	620	297
	月平均値	(ppm)	0.008	0.008	0.007	0.004	0.005	0.008	0.011	—	—	0.012	0.011	0.010
	1時間値の最高値	(ppm)	0.036	0.037	0.034	0.019	0.034	0.036	0.034	—	—	0.044	0.049	0.039
	日平均値の最高値	(ppm)	0.016	0.015	0.012	0.007	0.012	0.015	0.020	—	—	0.031	0.030	0.019
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0

※ 北山配水池と富貴小学校の二酸化窒素濃度の年間（4月から3月まで）の月平均値等を表しています。

※ 富貴小学校の11月から12月は、測定機器故障のため欠測。



表 1. 8 窒素酸化物 (NO+NO<sub>2</sub>) 測定結果

地点	年月 項目		平成30年									平成31年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水池	有効測定日数	(日)	30	31	28	31	31	30	31	30	29	31	28	31
	測定時間	(時間)	712	734	685	734	734	711	736	710	724	734	664	736
	月平均値	(ppm)	0.010	0.011	0.007	0.005	0.006	0.009	0.013	0.016	0.016	0.013	0.016	0.013
	1時間値の最高値	(ppm)	0.055	0.060	0.041	0.023	0.028	0.045	0.060	0.071	0.081	0.088	0.093	0.084
	日平均値の最高値	(ppm)	0.023	0.026	0.013	0.009	0.013	0.019	0.032	0.034	0.043	0.052	0.048	0.037
	月平均値 NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> )	(%)	91.7	92.4	87.1	86.4	85.9	92.0	86.5	86.5	81.2	84.7	86.1	90.6
富貴小学校	有効測定日数	(日)	30	27	26	29	31	27	18	—	—	21	26	12
	測定時間	(時間)	715	646	628	708	740	672	441	—	—	546	620	297
	月平均値	(ppm)	0.010	0.010	0.009	0.005	0.006	0.010	0.014	—	—	0.015	0.013	0.012
	1時間値の最高値	(ppm)	0.067	0.054	0.063	0.059	0.034	0.040	0.052	—	—	0.121	0.104	0.057
	日平均値の最高値	(ppm)	0.020	0.020	0.015	0.010	0.013	0.018	0.029	—	—	0.054	0.044	0.023
	月平均値 NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> )	(%)	82.1	82.8	77.8	70.6	81.6	85.0	81.0	—	—	78.5	82.0	86.0

※ 北山配水池と富貴小学校の窒素酸化物濃度の年間（4月から3月まで）の月平均値等を表しています。

※ 富貴小学校の11月から12月は、測定機器故障のため欠測。

图1.7 一酸化窒素経年变化

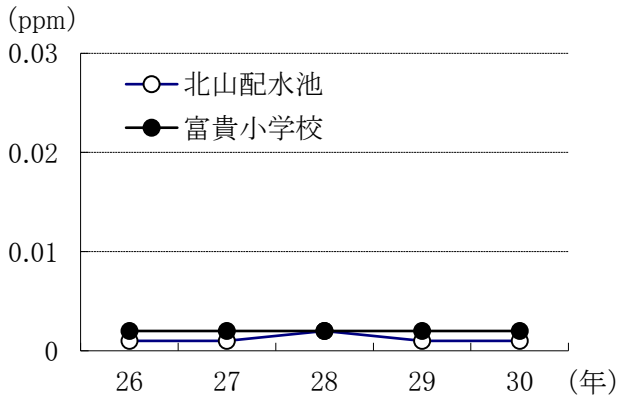


图1.8 二氧化窒素経年变化

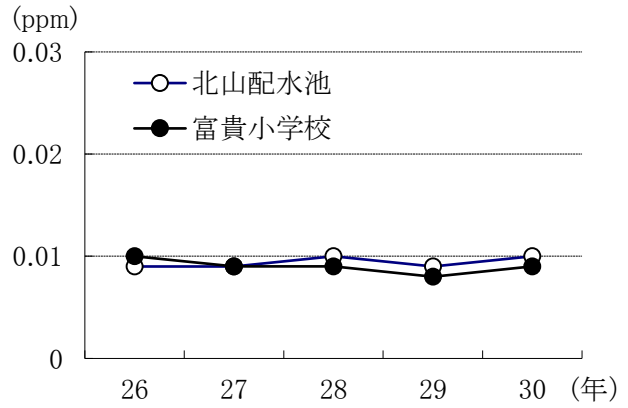


图1.9 一酸化窒素経月变化

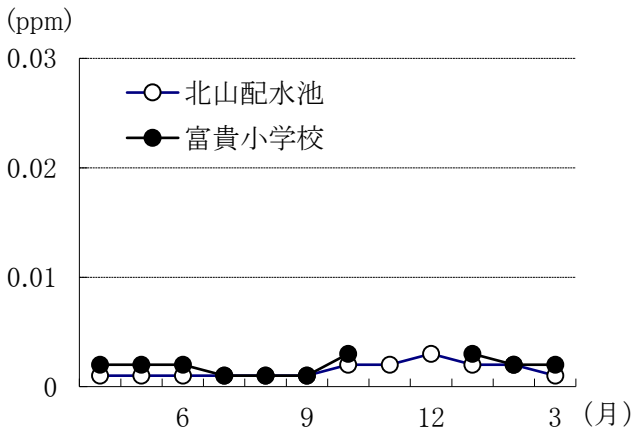


图1.10 二氧化窒素経月变化

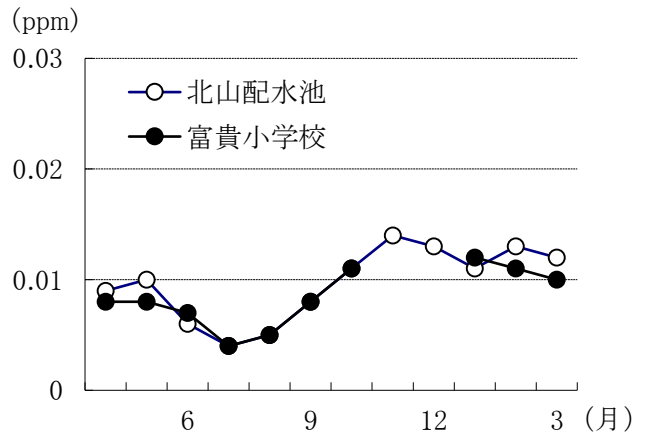


图1.11 風向別窒素酸化物濃度

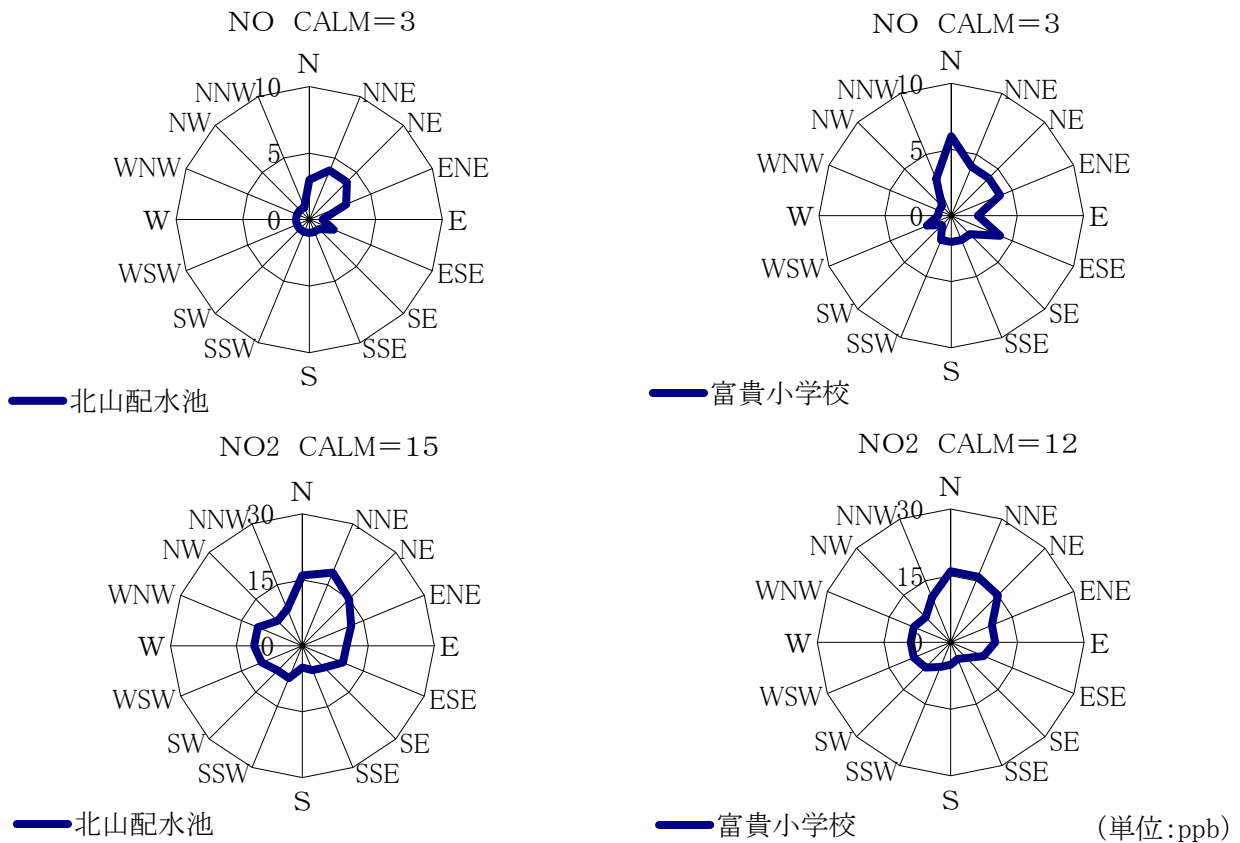


图1.12 曜日別一酸化窒素濃度

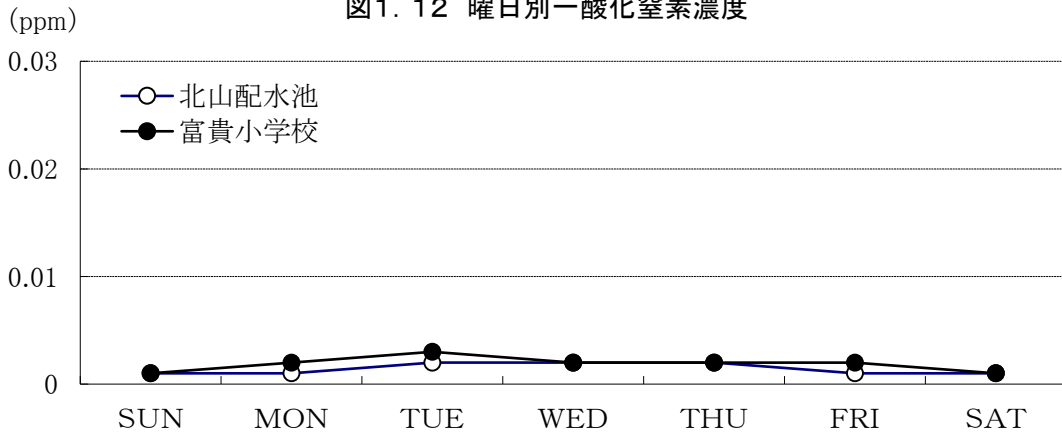


图1.13 曜日別二酸化窒素濃度

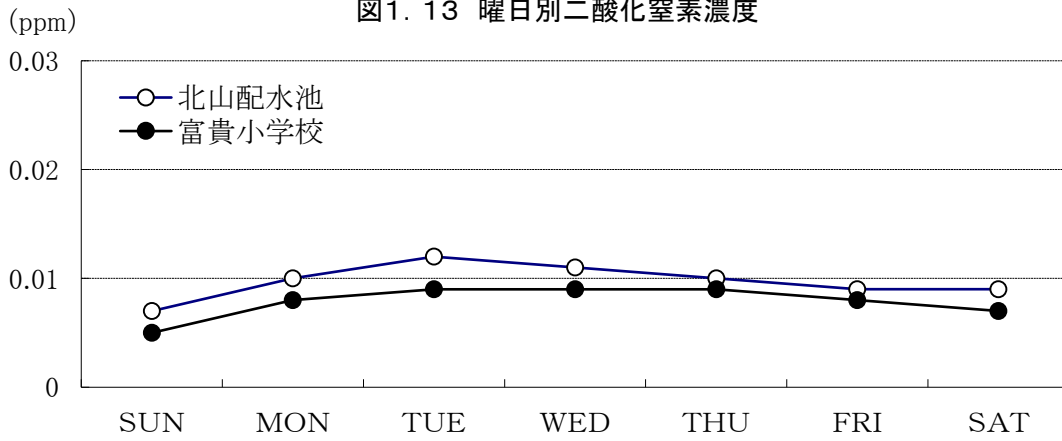


图1.14 時刻別一酸化窒素濃度

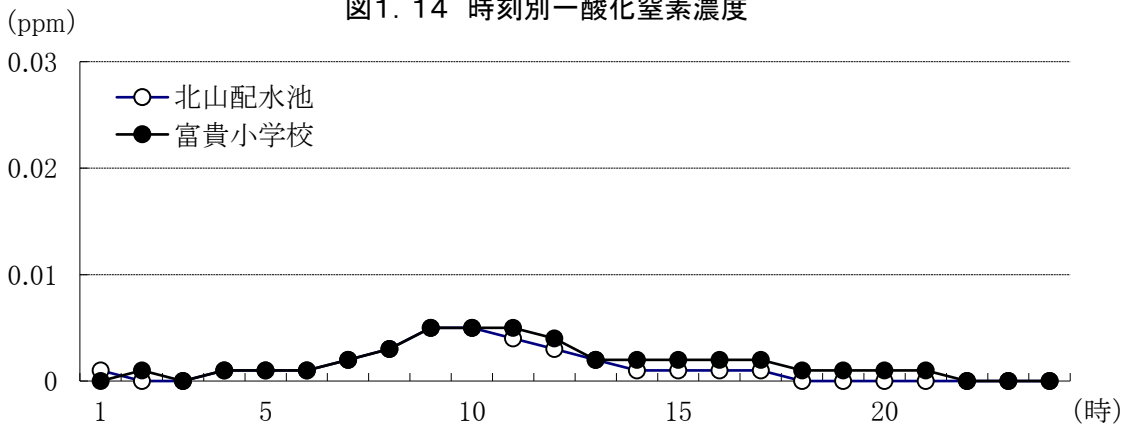
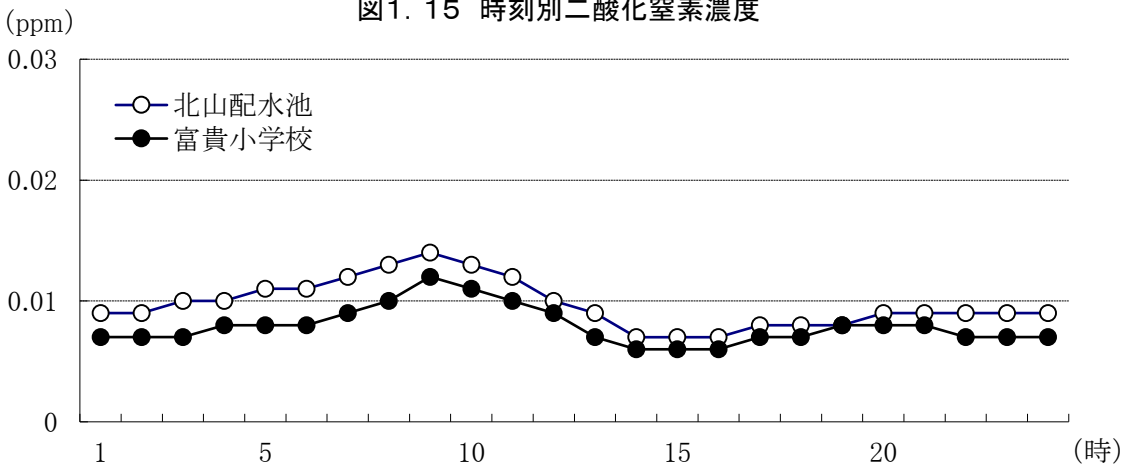


图1.15 時刻別二酸化窒素濃度



# 1. 3 光化学オキシダント

光化学オキシダントの昼間（5時から20時の間）濃度は、表1. 10および図1. 16に示すように、ほぼ横ばいで推移しています。平成30年度の昼間年平均値は、北山配水池および富貴小学校においてそれぞれ、0.032 ppm、0.033 ppmでした。また、最高値はそれぞれ、0.093 ppm、0.112 ppmであり、2測定局とも環境基準（表1. 9）を満たしていません。

平成30年度、武豊町の属する衣浦地域では、光化学スモッグの予報の発令はありませんでした。

表1. 9 光化学オキシダントの環境基準

1時間値が0.06ppm以下であること。
----------------------

表1. 10 オキシダント（昼間）経年変化

項目 地点 年度	昼測定 日間数 (日)	昼測定 時間 (時間)	昼年 平均 間値 (ppm)	昼間の1時間値 が0.06ppm を超えた時間数 及び日数		昼間の1時間値 が0.12ppm 以上の時間数 及び日数		昼間 の1時 間最 高値 (ppm)	日 値の 最高 年間 1時 間均 間値 (ppm)	環 境 基 準 の 否 (適○・否×)	
				(時間)	(日)	(時間)	(日)				
北山配水池	26	365	5,461	0.034	355	72	0	0	0.107	0.047	×
	27	333	4,936	0.035	294	69	0	0	0.102	0.048	×
	28	365	5,449	0.032	255	59	0	0	0.104	0.044	×
	29	365	5,430	0.034	314	65	0	0	0.107	0.047	×
	30	365	5,454	0.032	277	64	0	0	0.093	0.045	×
富貴小学校	26	365	5,456	0.034	386	86	0	0	0.097	0.048	×
	27	353	5,252	0.034	347	75	0	0	0.103	0.047	×
	28	365	5,454	0.031	306	62	0	0	0.098	0.043	×
	29	342	5,085	0.033	314	64	0	0	0.101	0.047	×
	30	365	5,448	0.033	294	68	0	0	0.112	0.047	×

※ 北山配水池と富貴小学校の光化学オキシダント濃度の平成26年度から平成30年度までの昼間年平均値等を表しています。

図1. 16 オキシダント(昼間)経年変化

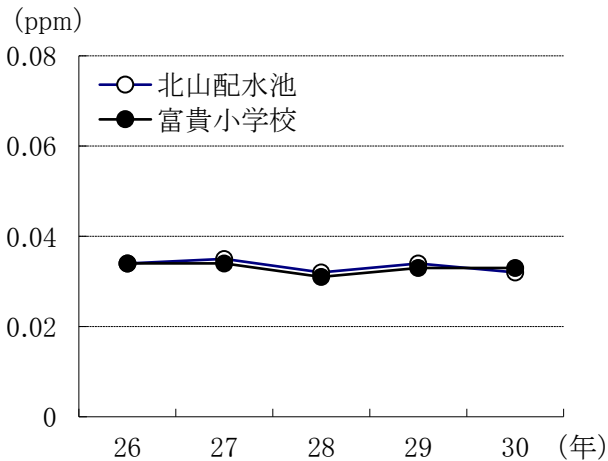


図1. 17 オキシダント(昼間)経月変化

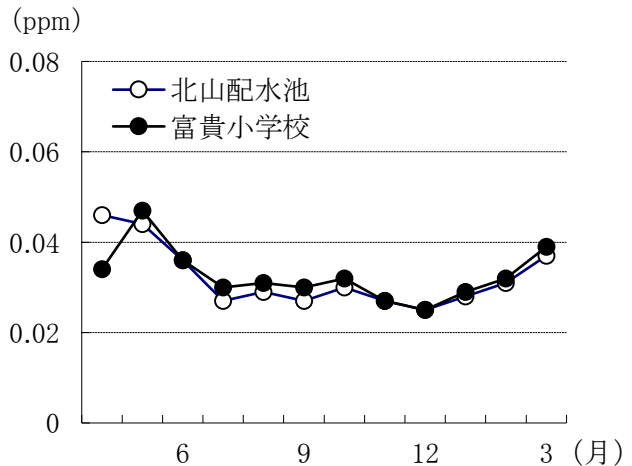


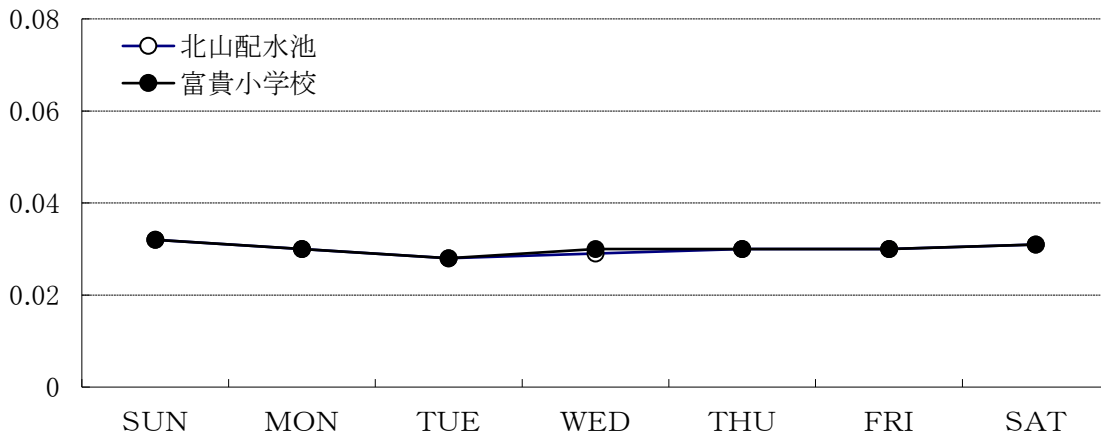
表 1. 1 1 オキシダント（昼間）測定結果

地点	年月 項目		平成30年									平成31年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水池	測定日数	(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	450	465	429	465	465	450	465	450	465	465	420	465
	月平均値	(ppm)	0.046	0.044	0.036	0.027	0.029	0.027	0.030	0.027	0.025	0.028	0.031	0.037
	1時間値が0.06ppm を超えた日数と時間数	(日)	12	14	8	11	10	3	2	0	0	0	0	4
		(時間)	73	61	47	37	31	9	4	0	0	0	0	15
	1時間値が0.12ppm 以上の日数と時間数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	(ppm)	0.080	0.093	0.084	0.092	0.079	0.075	0.068	0.051	0.048	0.043	0.060	0.074
日最高1時間値の 月平均値	(ppm)	0.060	0.058	0.049	0.042	0.046	0.042	0.045	0.040	0.033	0.038	0.041	0.050	
富貴小学校	測定日数	(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	450	465	450	445	465	443	465	450	465	465	420	465
	月平均値	(ppm)	0.034	0.047	0.036	0.030	0.031	0.030	0.032	0.027	0.025	0.029	0.032	0.039
	1時間値が0.06ppm を超えた日数と時間数	(日)	6	18	7	11	11	7	4	0	0	0	1	3
		(時間)	24	99	34	50	42	23	6	0	0	0	3	13
	1時間値が0.12ppm 以上の日数と時間数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	(ppm)	0.075	0.101	0.092	0.112	0.086	0.076	0.067	0.055	0.049	0.044	0.062	0.077
日最高1時間値の 月平均値	(ppm)	0.045	0.065	0.050	0.046	0.050	0.045	0.048	0.041	0.034	0.039	0.043	0.052	

※ 北山配水池と富貴小学校の光化学オキシダント濃度の年間（4月から3月まで）の各月平均値等を表しています。

(ppm)

図1.18 曜日別オキシダント濃度



(ppm)

図1.19 時刻別オキシダント濃度

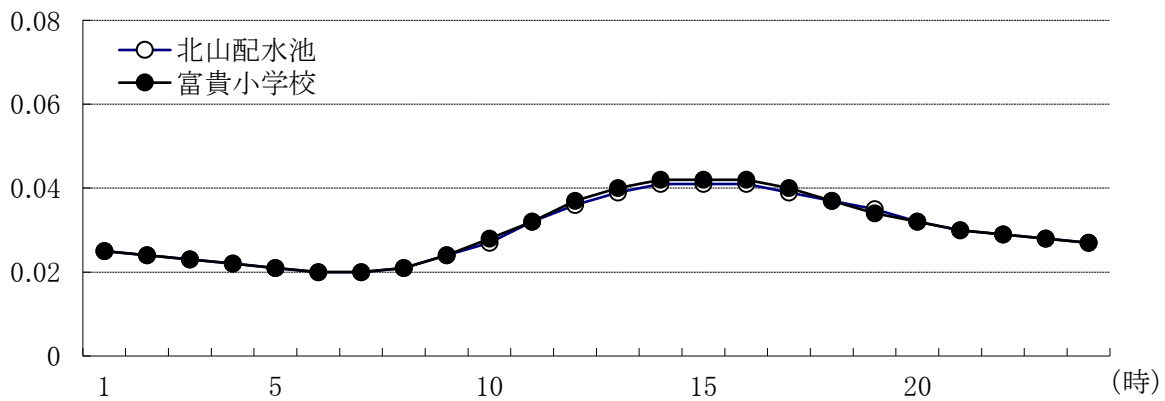
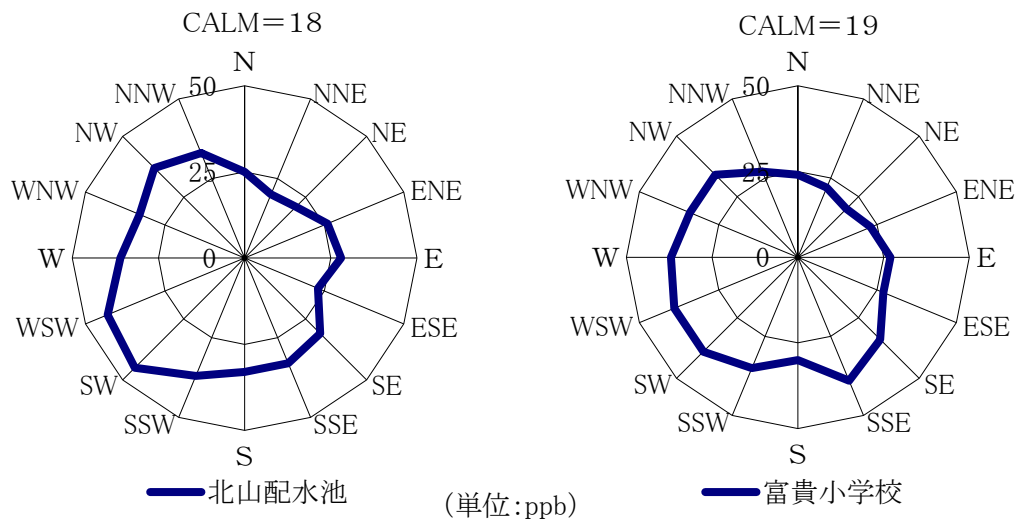


図1.20 風向別オキシダント(昼間)濃度



## 1. 4 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質は、工場等の産業活動により発生するものだけでなく、自動車の運行に伴って発生するものや、自然由来のチリなども影響するため、環境基準（表1. 12）を超える年もありますが、その濃度はほぼ横ばいで推移しています。（表1. 13、図1. 21）平成30年度の年平均値は、北山配水池および富貴小学校においてそれぞれ0.024 mg/m<sup>3</sup>、0.042 mg/m<sup>3</sup>でした。

表1. 12 浮遊粒子状物質の環境基準

1時間値の1日平均値が0.10 mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m<sup>3</sup>以下であること。

表1. 13 浮遊粒子状物質経年変化

項目 地点 年度	有測定 日 効数	測定 時間	年 平 均 値	1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 とその割合		日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 とその割合		1の 時最 間高 値値	日2 平% 均除 値外 の値	環適 境基 準の 否	
	(日)	(時間)	(mg/m <sup>3</sup> )	(時間)	(%)	(日)	(%)	(mg/m <sup>3</sup> )	(mg/m <sup>3</sup> )	(適○・否×)	
北山配水池	26	359	8,629	0.029	0	0.0	0	0.0	0.104	0.055	○
	27	300	7,311	0.028	0	0.0	0	0.0	0.121	0.056	○
	28	350	8,511	0.024	0	0.0	0	0.0	0.129	0.048	○
	29	360	8,684	0.023	0	0.0	0	0.0	0.127	0.052	○
	30	351	8,474	0.024	0	0.0	0	0.0	0.127	0.052	○
富貴小学校	26	339	8,193	0.036	0	0.0	0	0.0	0.107	0.069	○
	27	330	8,132	0.035	0	0.0	0	0.0	0.142	0.060	○
	28	360	8,679	0.035	0	0.0	0	0.0	0.099	0.059	○
	29	345	8,337	0.042	0	0.0	0	0.0	0.138	0.072	○
	30	362	8,712	0.042	0	0.0	0	0.0	0.136	0.079	○

※ 北山配水池と富貴小学校の浮遊粒子状物質濃度の平成26年度から平成30年度までの年平均値等  
を表しています。

図1. 21 浮遊粒子状物質経年変化

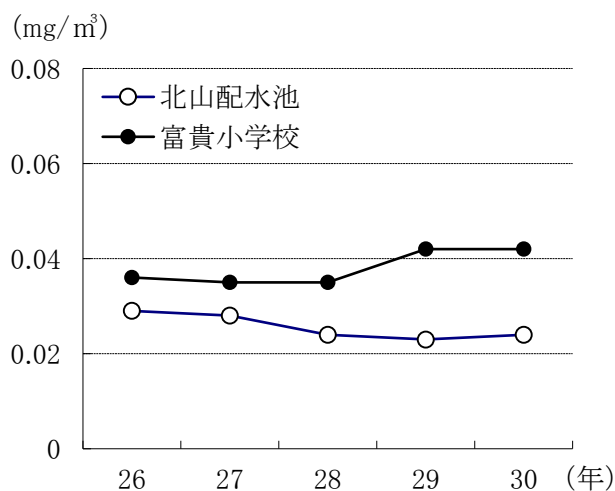


図1. 22 浮遊粒子状物質経月変化

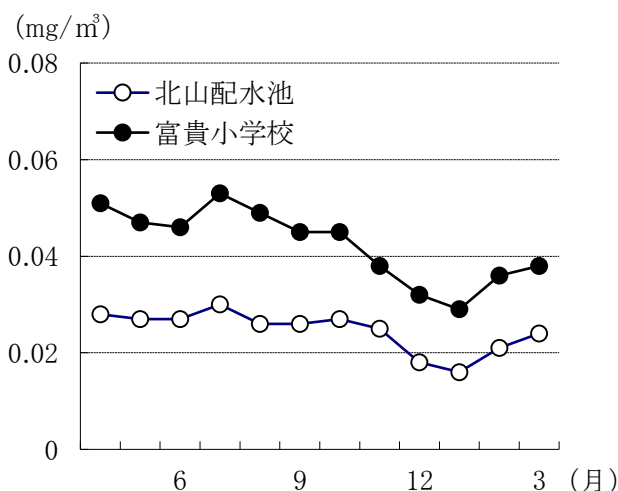


表 1. 14 浮遊粒子状物質測定結果

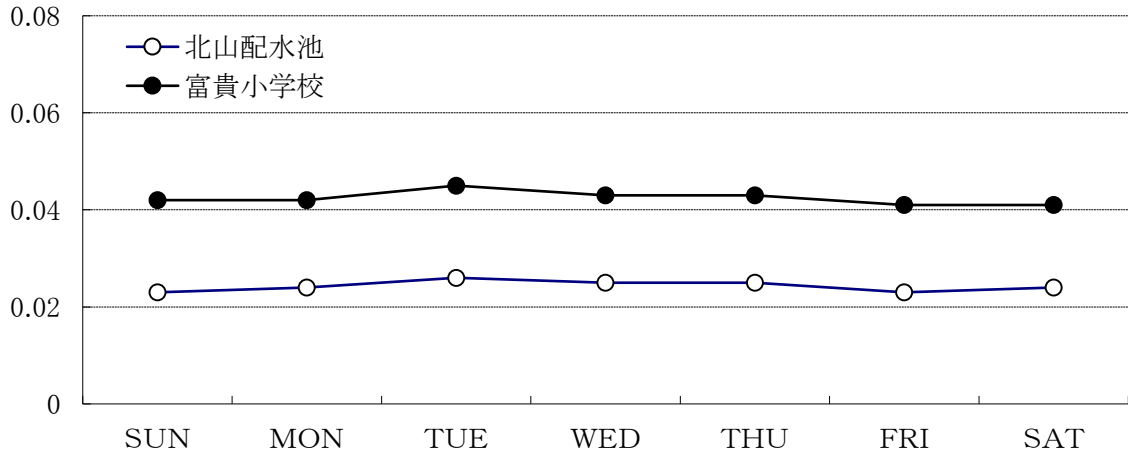
地点	年月 項目		平成30年									平成31年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水池	有効測定日数	(日)	29	31	30	30	19	30	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	705	744	719	735	487	720	743	720	743	744	670	744
	月平均値	(mg/m <sup>3</sup> )	0.028	0.027	0.027	0.030	0.026	0.026	0.027	0.025	0.018	0.016	0.021	0.024
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を越えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を越えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	(mg/m <sup>3</sup> )	0.083	0.127	0.068	0.078	0.083	0.089	0.075	0.069	0.084	0.064	0.088	0.073
	日平均値の最高値	(mg/m <sup>3</sup> )	0.054	0.065	0.048	0.057	0.034	0.042	0.053	0.043	0.052	0.031	0.036	0.038
富貴小学校	有効測定日数	(日)	28	31	30	31	31	29	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	681	744	720	743	743	713	744	720	744	744	672	744
	月平均値	(mg/m <sup>3</sup> )	0.051	0.047	0.046	0.053	0.049	0.045	0.045	0.038	0.032	0.029	0.036	0.038
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を越えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を越えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	(mg/m <sup>3</sup> )	0.110	0.133	0.102	0.110	0.113	0.130	0.111	0.089	0.131	0.078	0.136	0.094
	日平均値の最高値	(mg/m <sup>3</sup> )	0.083	0.097	0.067	0.090	0.071	0.063	0.076	0.060	0.079	0.049	0.057	0.060

※ 北山配水池と富貴小学校の浮遊粒子状物質濃度の年間（4月から3月まで）の各月平均値等を表しています。



(mg/m<sup>3</sup>)

图1. 23 曜日別浮遊粒子状物質濃度



(mg/m<sup>3</sup>)

图1. 24 時刻別浮遊粒子状物質濃度

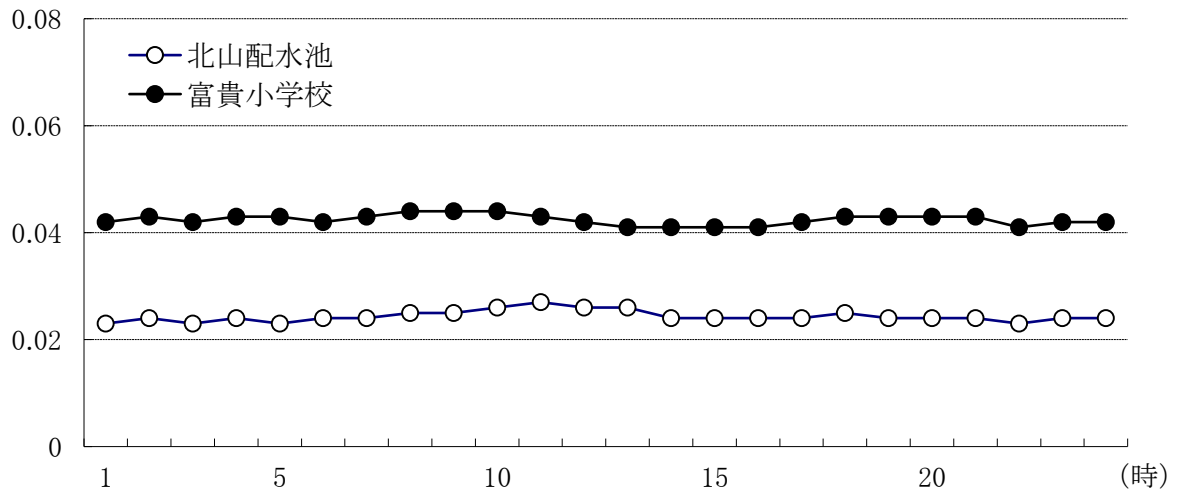
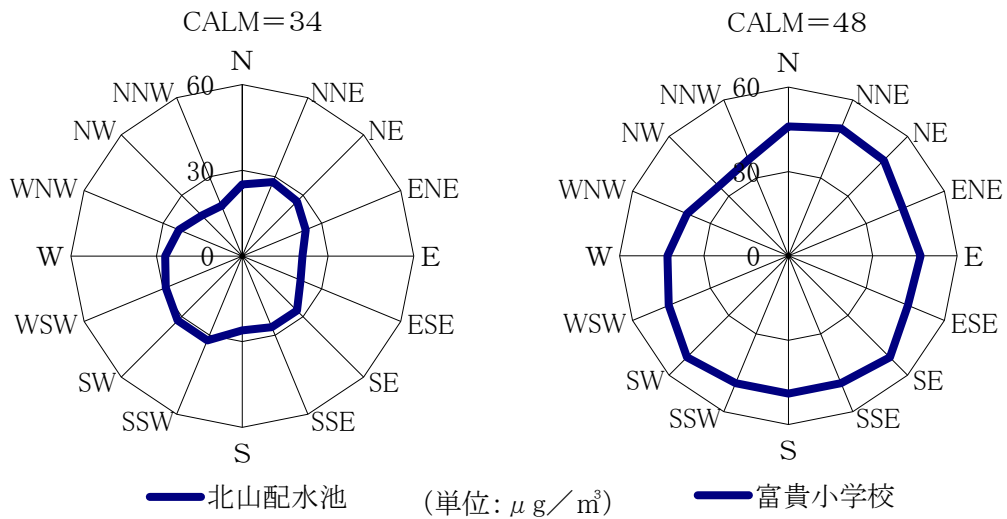


图1. 25 風向別浮遊粒子状物質濃度



## 1. 5 降下ばいじん

降下ばいじんの測定値は、測定場所ごとに気象等の影響を受けるため基準値は設けられていません。しかし、一定地域の降下物の割合を知ることができ、平均的な汚染の目安を得ることができることから、降下ばいじん量について町内2地点において測定を行いました。近年は、その値はほぼ横ばいで推移しています。（表1. 15、図1. 26）

表1. 15 降下ばいじん経年変化

年度	26	27	28	29	30
地点					
富貴小学校	2.0	1.9	2.0	2.2	1.8
市原地区調整池	2.5	2.2	2.3	2.6	2.0

※ 平成26年度から平成30年度までの年平均値を表しています。

表1. 16 降下ばいじん測定結果

年月	地点	富貴小学校	市原地区調整池
平成30年	4	3.7	3.8
	5	1.5	2.7
	6	1.6	2.3
	7	1.8	1.9
	8	—	—
	9	—	—
	10	—	—
	11	1.3	1.7
	12	1.1	1.3
平成31年	1	0.9	0.8
	2	1.8	1.4
	3	2.3	1.7

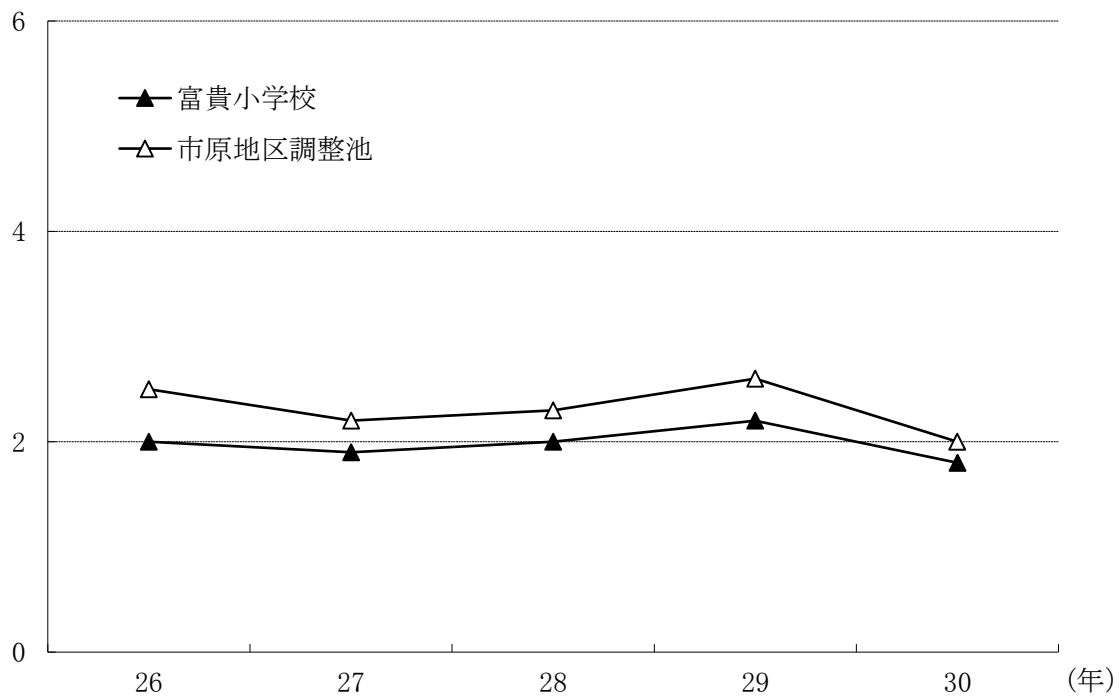
(単位: t/(km<sup>2</sup>・月))

※ 富貴小学校始め町内2地点における降下ばいじんの平成30年度の4月から3月までの測定値を表しています。

※ 平成30年8月から10月は台風の影響により欠測。

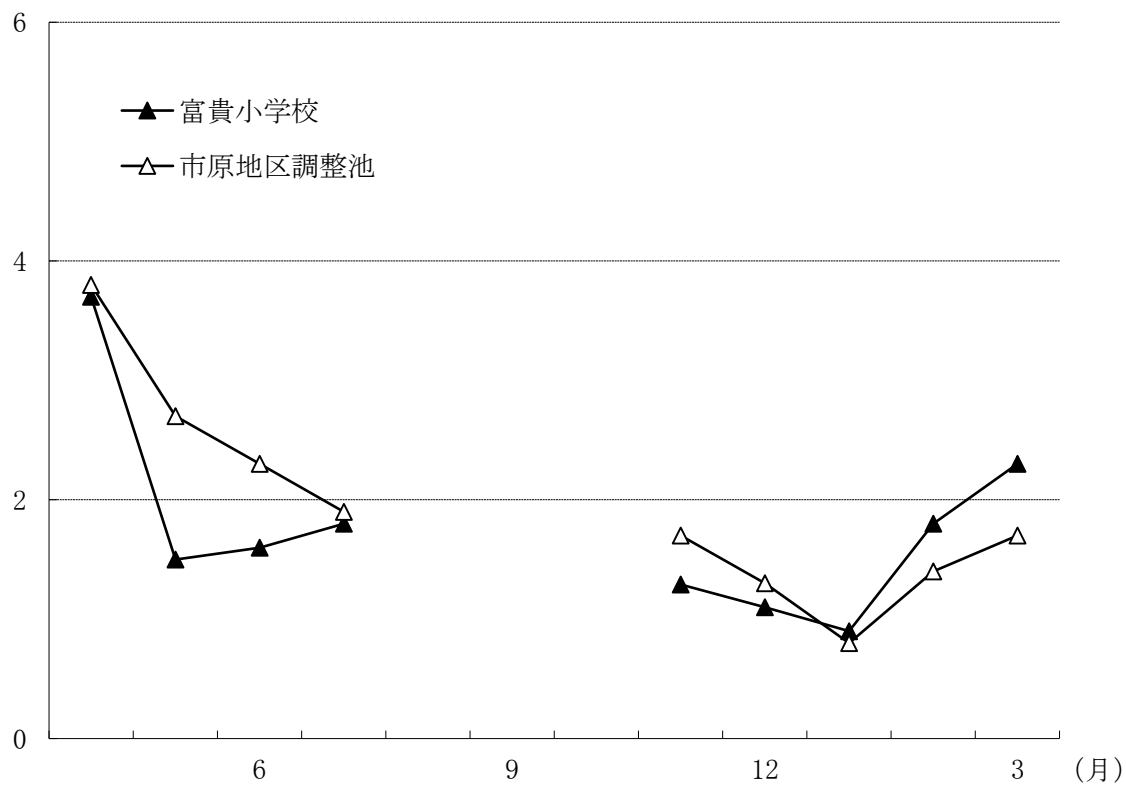
(t/km<sup>2</sup>・月)

図1. 26 降下ばいじん経年変化



(t/km<sup>2</sup>・月)

図1. 27 降下ばいじん経月変化



# 1. 6 気 象

図1. 28 風配図(年間)

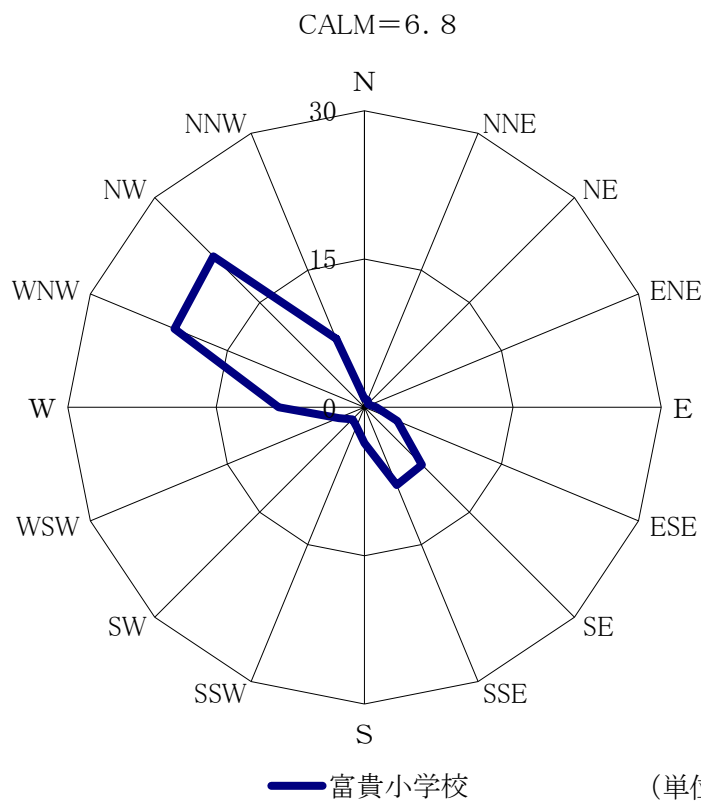
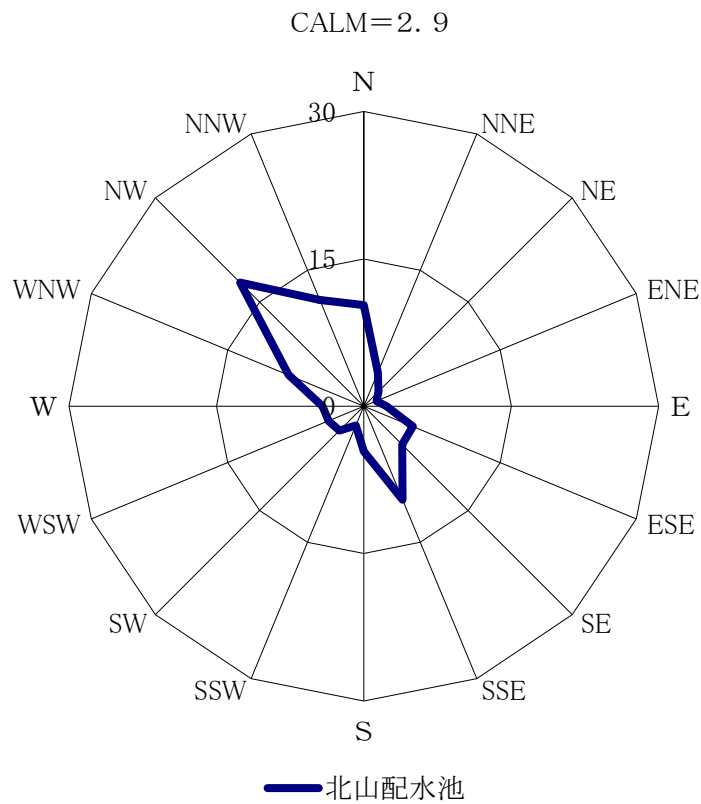


表 1. 17 気象観測結果

地点	年月 項目		平成30年									平成31年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水池	風向	最多風向	NW	SSE	SSE	SSE	SSE	NW	NW	NW	NW	ESE	NW	NW
		割合(%)	18.9	16.5	20.6	34.4	13.3	13.1	17.5	24.6	30.1	27.6	33.0	28.2
	風速 (m/sec)	月平均値	2.1	1.8	1.8	2.3	2.0	1.9	1.6	1.5	1.9	2.6	2.0	2.0
		1時間値の最高値	7.2	6.4	5.8	11.8	9.5	15.2	7.5	4.7	5.5	8.2	6.2	7.5
		1時間値の最低値	0.1	0.1	0	0.2	0.1	0.1	0	0	0.1	0.2	0.3	0.1
		日平均値の最高値	3.6	3.6	3.8	4.7	5.8	5.9	4.0	2.7	3.2	4.1	2.7	3.9
		日平均値の最低値	1.0	0.9	0.9	1.2	1.1	1.1	0.8	0.8	1.0	1.2	1.2	0.8
富貴小学校	風向	最多風向	WNW	WNW	SSE	SSE	W	WNW	NW	NW	NW	NW	NW	WNW
		割合(%)	23.3	17.3	17.6	31.0	14.5	13.6	27.4	33.1	37.5	38.0	38.7	27.2
	風速 (m/sec)	月平均値	2.4	2.0	2.1	2.6	2.2	1.9	1.7	1.6	2.2	2.1	2.2	2.2
		1時間値の最高値	7.6	7.9	6.7	10.4	11.3	14.8	8.1	6.2	6.5	7.0	6.4	7.4
		1時間値の最低値	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0
		日平均値の最高値	4.5	4.6	4.7	5.1	6.2	4.9	4.2	3.1	4.0	4.2	3.6	5.0
		日平均値の最低値	1.1	0.7	0.9	1.4	1.3	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	0.8	0.7

※ 北山配水池と富貴小学校の風向および風速の年間（4月から3月まで）の最多風向や各月平均値等を表しています。

## 大気関係用語

### 1 硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）

重油など硫黄分を含む燃料が燃えて生じた一酸化硫黄、二酸化硫黄などの総称です。無色の刺激性の強い気体で粘膜や呼吸器を刺激し、慢性気管支炎などの呼吸器系疾患の原因となります。

### 2 一酸化炭素（CO）

酸素が不足の状態では燃料が燃焼する際必ず発生するもので、血液中のヘモグロビンと結合して酸素の補給を阻害し、ひどい時には窒息にまで至ります。

### 3 オキシダント：酸化性物質（O<sub>x</sub>）

大気中のオゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他ヨウ化カリウム又は臭化カリウムと反応して、ヨウ素又は臭素を遊離させる酸化性物質をいい、光化学スモッグは、主としてこのオキシダントに起因するといわれています。

オキシダントは、0.15 ppmで目に刺激を訴える人が現われ、0.25 ppmで明らかに目やのどに刺激を感じます。

### 4 光化学スモッグ

大気中に存在する硫黄酸化物、窒素酸化物、炭化水素等のガス状物質が、強い日射を受け光化学反応を起こし、共存する微細粒子を核として凝結することにより生成されたものをいいます。

人体に対しては、目や気管支などの粘膜を刺激し、植物に対しては、葉を枯れさせたり、実がなくなるとなるなどの被害を与えます。

### 5 降下ばいじん

大気中の粒子状物質のうち、比較的粒子の大きいものが重力や雨の作用によって地上に降下したもののことをいいます。

降下ばいじん量は、1ヵ月の間に1 km<sup>2</sup>当たり何トン降下したか（t/km<sup>2</sup>・月）で表わし、気象条件などの影響を受けます。

### 6 酸性雨

大気中に排出された硫黄酸化物、窒素酸化物などが、空気中の水分あるいは雨と作用し、雨水が酸性化されたもので、通常pH=5.6より低い場合をいいます。諸外国では、森林や建物への被害が発生しています。

### 7 ダイオキシン類

ダイオキシン類対策特別措置法において、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン（PCDD）及びコプラナーポリ塩化ビフェニル（コプラナーPCB）のことをダイオキシン類と定義しています。

物の燃焼等の過程で非意図的に生成し、毒性としては、一般毒性、発がん性、生殖毒性、免疫毒性など多岐にわたっています。

## 8 窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）

主な窒素酸化物は、一酸化窒素（NO）と二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）です。これらは石油、石炭の燃焼に伴って発生し、工場、ビル、自動車などから排出されます。NO<sub>2</sub>は、濃厚な場合は目を刺激し、呼吸器に急性の喘息性の症状を起こすなど有害です。

## 9 ばい煙

大気汚染防止法第2条の定義によれば、ばい煙とは、

- (1) 燃料その他の物の燃焼に伴い発生する硫黄酸化物。
- (2) 燃料その他の物の燃焼又は熱源としての電気の使用に伴い発生するばいじん。
- (3) 物の燃焼、合成、分解その他の処理に伴い発生する物質のうち人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質（有害物質）として、
  - ア カドミウム及びその化合物
  - イ 塩素及び塩化水素
  - ウ 弗素、弗化水素及び弗化珪素
  - エ 鉛及びその化合物
  - オ 窒素酸化物

をいうとされています。

## 10 ppm

100万分中のいくつであるかを示す分率です。

大気汚染では、1 m<sup>3</sup>の大気中に1 cm<sup>3</sup>の汚染物質が含まれている状態を1 ppmで表わします。

## 11 浮遊粒子状物質（SPM）

大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が10 μm以下のものをいいます。

発生源は、工場、交通機関、家庭等人為的なもののほか、土壌の舞い上がりや火山活動等自然的なものがあります。

## 12 粉じん

大気汚染防止法第2条の定義によれば、粉じんとは、物の破碎、選別その他の機械的処理又はたい積に伴い発生し、又は飛散する物質のことをいい、法律では、特定粉じんと一般粉じんに分けています。

特定粉じんとは、粉じんのうち、石綿その他の人の健康に係る被害を生ずるおそれがある物質で政令で定めるものをいい、一般粉じんとは、特定粉じん以外の粉じんをいいます。